

教員名	専攻	テーマ（１）	内 容	テーマ（２）	内 容
山本 幸男	日本古代史	奈良時代の古文書を読もう	東大寺の正倉院には、奈良時代に行われた写経に関する文書が大量に伝来しています。その中から、写経従事者の欠勤届や借金の証文などを取り上げ、当時の人々の息吹に触れます。	海を渡った青春 —遣唐使秘話—	8世紀初に成立した律令国家を維持運営するには、最新の唐文化の導入が不可欠。その役割を担ったのが遣唐使ですが、そこには多くの留学生が含まれていました。命をかけて唐に渡った若者たちの行方を追いかけてみます。
鈴木 徳男	古典文学 平安後期和歌文学	百人一首	広く親しまれてきた『百人一首』は、藤原定家が800年前にまとめた歌仙秀歌撰です。その中にある和歌をとりあげて鑑賞し、和歌の楽しさ、古典の歌集は、どのように読んだらおもしろいかを考えます。	古典の恋歌	古典の和歌には、恋歌の絶唱がたくさんあります。時代を越えた愛を通して、その味わい方や楽しみ方を学び、磨かれた日本語の表現を考えます。
荒井 真理亜	近代日本文学	エンディングが違う！？ —「羅生門」の成立過程—	教科書でおなじみの芥川龍之介の「羅生門」。初めて発表された時、最後の一文は皆さんの知っている「下人の行方は誰も知らない」ではありませんでした。「羅生門」が今の〈形〉になるまでを一緒に追いかけてみましょう。	〈大阪〉を読んでみよう！ —作家たちが描いた大阪—	皆さんは大阪が出てくる小説を知っていますか？ 実は、様々な作家が多彩な大阪の姿を描いています。それらを実際と比較しながら、大阪の描かれ方について考えます。皆さんにとっても身近な場所が出てくるかもしれませんよ。
眞谷 充利	大阪都市論 近代建築史	大阪の町を知っていますか	都市は、それぞれ、独自の文化つまりその町がもつ生活のスタイルや美意識を育んできました。大阪は、経済、芸能、学問の分野で多くの遺産を残しています。その大阪の文化遺産を自然や歴史を調べながら考えてみます。	ル・コルビュジェ	ル・コルビュジェは近代建築の完成者としてひろく知られています。ル・コルビュジェの建築はどのようにして生まれたのか。中世ゴシック建築の研究、東方への旅そして絵画の制作から考えてみます。
高木 学	サブカルチャー論	アニメと現代社会	機動戦士ガンダムと新世紀エヴァンゲリオンなどの大ヒットしたアニメ作品を当時の社会背景と結びつけながら解説します。	ジブリ作品と環境問題	風の谷のナウシカ、もののけ姫、崖の上のポニョなどのジブリ作品を詳しく読み解き、そこに描かれた現代人と環境のかかわり方を考えていきます。
釈 徹宗	宗教学・仏教学	宗教について考える	社会や人間を知るには宗教の問題を避けて通ることはできません。また、宗教を知ることで、社会や人間のありさまが見えてきます。「宗教とは何か」、また仏教・キリスト教・イスラム教など主要宗教の特徴など、ポイントを概説します。	現代人のための仏教	「現代人特有の苦悩」と向き合うのに、仏教的視点が重要でないかと思われます。仏教は、哲学的要素や臨床心理学的要素が強い宗教です。また私たちの周りには、豊かな仏教文化が開花しています。こうした仏教のアウトラインをお話しします。
井上 陽	仏教学・仏教文化学	砂に埋もれた遺跡と交易と仏教と —シルクロードの仏教—	中央アジアの砂漠世界は人が生きてゆくにはあまりに厳しい。点在するオアシスとそれを結ぶ交易路が微かな生命線でした。覆われた砂をとり払うと遺跡としての仏教が露わとなります。そこに眼を向け、耳を傾け、古代の人々へ思いを馳せてみましょう。	遥か天竺をめざして —三蔵法師・玄奘の旅—	『西遊記』の主人公として知られる三蔵法師こと玄奘は、7世紀ふるさと中国を離れ、遥かインド（天竺）をめざしました。それを伝える旅行記は、玄奘の旅がどのようなものであったのかを詳しく伝えています。彼の旅を通して古代への旅に出かけましょう。
佐々木 隆晃	真宗学・仏教学	お経って何が書いてあるの？	お経って何が書いてあるのか、聞いただけではわからないですよね。そこには2500年もの間、人々を支え続けてきた何かがあるはず。私の心の動きや私の見方などを踏まえて考えてみたいと思います。	本願寺に行ってみよう	お寺って行ったことがありますか？京都や大阪には歴史に大きな影響を与えたお寺がたくさんあります。本願寺、親鸞、蓮如、顕如、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などなど、歴史にふれながら、お寺という空間を感じてみましょう。
初塚 眞喜子	発達臨床心理	青年期のアイデンティティ （自分らしさ）について	ライフサイクルの中で、青年期をどのように位置づけることができるのか、自分とは何者なのか等、青年期の自己意識・自己理解について解説します。	乳幼児期の心の絆について	出生直後から3歳頃までの時期に大人（一般には母親）との間に形成する心理的・情緒的な絆について、アタッチメント（愛着）というキーワードを中心に解説します。
西迫 成一郎	社会心理	親密な人間関係 —好意と恋愛感情の心理学—	みなさんの周りには、非常に親しみをもって付き合っている人達もいることでしょう。講座では、われわれはまわりの人とどのような理由で親密な関係を作ることになるのかということを中心にお話しし恋愛の心理学についても授業をします。	集団の中の人間	私たちは、いろいろな集団に所属して日々の生活をおくっています。家族集団、仲良し集団、学級集団などです。この講座では、集団とはそもそも何かの説明からはじめ、集団活動の特徴やリーダーシップの話をしていきます。
益田 圭	産業組織心理 人権	人を見る目は確かです！？	誰かがどんな人間かを考えるときに、人間の判断に知らず知らずのうちに影響を与えてしまうステレオタイプ。ステレオタイプとはどのようなもので、私たちの「人を見る目」にどのように影響するのかを考えます。	「心」って、どんなもの？	心理学がどのようなものかについて、「心」と「物」との違いを手がかりに考えます。人間が何かを見ることは、カメラで映像を映すこととは違って「心」が働いていることなども簡単な実験で示して実感してください。
Johan Alsdorf	英語教育 異文化間コミュニケーション	非言語コミュニケーション	人は表情や視線、ジェスチャーなど言語以外の様々な方法でコミュニケーションを取ります。このようなnonverbal communicationの役割、そしてその重要性を活動を通して一緒に考えます。	英訳について考える	日本語を英語にするというのは、ただ単に言葉を入れ替えればいいという単純なものではありません。英訳の難しさ、そして奥深さを短い文や歌を通して一緒に考えます。
木下 有子	言語学 異文化間コミュニケーション	茶柱が立つとなぜ縁起が良いの？	「茶柱が立つと縁起が良い」とよく言われます。それはなぜなのでしょう。珍しいからでしょうか。人間の身体感覚やものの見方がことばにどのように映し出されているかを、いろいろな例を見ながら一緒に考えます。	翻訳にチャレンジしてみよう！	「翻訳」についてどのようなイメージがあるのでしょうか。格好良いですか。難しそうですか。短い英語のエッセーをその日本語訳と比較しながら、翻訳とは何か、自分ならどういう日本語にするかなど、一緒に考えます。
石川 玲子	イギリス文学・文化	マザーグースから見ることばと文化	マザーグース(の唄)とはイギリスやアメリカで親から子へと歌い継がれてきた子どものための詩歌の総称です。マザーグースの唄を楽しみながら、日本語と英語の違いや、イギリス、アメリカの歴史や慣習について学びます。	英語で短編小説を読んでみよう	O.ヘンリーの短編小説「二十年後(“After Twenty Years”)」を読んでみましょう。原作と合わせて翻訳を利用しますが、いくつかの英語の語彙や表現に注目して、物語を味わいたいと思います。また、物語の文化的な背景についても学びます。
中村 圭爾	中国前近代史	シルクロード	どこまでも続く砂漠を、ラクダの列がゆっくりと歩いて行きます。それは東の世界と西の世界のモノと文化を運んでいるのです。その道の名はシルクロード(絹の道)。この道の果たした役割を考えます。	本当の三国志	小説・映画・テレビ・マンガ・ゲームで有名な三国志。でもそれは本当の三国志の姿でしょうか。じつはそこにはさまざまな作り話がつけ加わっています。本当の三国志の歴史はどうか、歴史の原点にもどって考えます。
片岡 尹	国際金融	ポンド・ドルそして元	国際通貨は19世紀末ポンドによって成立し、20世紀に入りドルがとって代わりました。21世紀になると元がとって代わるのではないかという意見も聞かれるようになりました。これらの変遷の原因を考えます。	国際通貨制度と金融危機	戦後何度も国際金融危機が生じ、固定相場制の時期にはドル危機でしたが、変動制の時期には発展途上国が発火点となりました。直近の危機は未国発のものでした。これらの経緯とそれらの国の違いについて考えます。
藤谷 忠昭	情報社会・地域社会	情報と社会	電話の歴史を辿りながら、情報機器の変化による家族、地域社会、個人の意識の変化について解説します。とりわけ携帯電話・スマホの出現によるコミュニケーションの変化について考えます。	基地と地域社会	沖縄の歴史を辿りながら、米軍基地の現状と地域社会への影響を解説します。報道などでたびたび話題となり、選挙などでも争点となる沖縄の課題と日本の防衛について、理解を深めるための基礎的知識の習得を目指します。